



長岡技術科学大学地震工学研究室 NEWS LETTER

2025/9
第7号

新キャプテンのあいさつ

このたび、地震工学研究室のリーダーを務めさせていただくことになりました、修士1年の松橋です。現在の研究室は、イベントや隔週のミーティングを通じて、学生同士はもちろん、教員とのつながりもとても活発です。今年度はM1の人数が大幅に増え、これまでにない大所帯となりました。女性メンバーや留学生割合も比較的高く、9月からファイカ シャヒドゥ(Faiqa shahid)さんも加わりました。ますます多様性に富んだ研究室になってきています。私自身、リーダーとして特別なカリスマ性があるタイプではありませんが、個性豊かで多様な能力を持つメンバーが集まるこの研究室だからこそ、互いに補い合いながら、円滑な運営を目指していきたいと思っています。今後も、現在の風通しの良い雰囲気を大切に、誰もが気軽に相談できるような環境づくりに努めます。また、留学生の比率が高まる中で、英語での対応や情報共有など、研究室全体としてグローバルな視点を意識した運営にも取り組んでいきたいと考えています。皆さまには、これからも温かく見守っていただけると嬉しいです。皆さまのご活躍に励まされながら、メンバー一同、日々の活動に励んでまいります。(M1 松橋)



メンバー紹介と研究テーマ・実務訓練先

M2 (4人)

安達 和希：令和6年能登半島地震による新潟市内を対象とした複数液状化判定法の比較
齊藤 竜也：令和6年能登半島地震における石川県内灘町西荒屋地区の地盤変状の定量化
西尾 陽丸：表層地盤が地震動に及ぼす影響の検討 ー新潟県中越地域を例としてー
武藤 夏歩：2つの能登半島地震で生じた道路被害の検討

M1 (8人)

袁 昊：道路盛土被害（のと里山海道）関連の研究
何 多：凍結融解過程における地盤の力学特性の変化
坂井 響：表層の非線形増幅特性に関する研究
中村 勇斗：内灘地域における地盤の1次元・2次元解析
野田 悠斗：凍結サンプリングによる試料品質
松田 晃知：上越沖の海底活断層を想定した地震動評価と被害想定
松橋 典子：微地形と微動を用いたサイスミックゾーニングに関する研究
ファイカ： Strong ground motion characteristics of Niigata City observed during the 2024 Noto Peninsula Earthquake

B4 (5人)

<実務訓練先>

小林 純成
日本工営株式会社
平林 千明
パシフィックコンサル
タンツ株式会社
松浦 朱里
株式会社日建設計
マルコ
株式会社オリエンタル
コンサルタンツ

<課題研究テーマ>

小幡 蓮
原位置調査結果を用いた
現行の液状化判定法
を用いた比較

EELコラム

志賀先生
ご結婚おめでとうございます！
(研究室一同)

プライベートな話題で恐縮ですが、今年の2月14日に結婚をしました！妻は、長岡に来てから知り合った人で、現在は福井県で某K島建設の建築系の現場監督をしています。自分の戸籍上の名字が変わり、いろいろな場面でゆっくりと自分を形作ってたものが変わっていく感覚を楽しんでいます。

(あ、今後も皆さんには志賀の名前で呼んでもらえると嬉しいです)
これからも夫婦共々お付き合いのほどよろしくお願いします！
(志賀先生)



9月からファイカさんが新しい
研究室メンバーに加わりました！！

Q1. 母国の魅力を教えてください
Pakistan, a South Asian country
where the ancient civilization
of Indus valley originated, known for
rich heritage and architecture of
Mughal emperor.

Q2. 日本に来た理由を教えてください
I want to learn the civilization, organization and their
behavioral aptitude from Japanese culture.

コメント
I would address aspiring international students to
must consider Japan in their wish lists. Thank you



Events

系長杯 (6/12)

6月中旬に系長杯が開催され、今年は都市交通研、地盤研、水圏土壌研が参加し、総当たり戦が行われました。第1試合では鋼構造研の林先生が助っ人として参加くださり、打線が好調に繋がって快勝し、地震研として初めての勝利を収めました。続く第2・第3試合でも、粘り強い攻撃と正確な送球によって堅実な試合運びを展開し、最終順位は全体2位となりました。大会を通じて、他研究室の学生との交流を深める貴重な機会となりました。
(M1 中村)



長岡花火大会 (8/2)

8月2日、研究室のみんなと長岡まつり大花火大会を楽しみました。今年は長生橋の傍で、打ち上げ地点のすぐ近くにある南エリア席から観覧でき、昨年の陸上競技場より迫力を感じました。日中は猛暑で大変でしたが、夜7時を過ぎると涼しくなりました。演出の途中、市民の生活を支えてきた長生橋がLEDライトで彩られ、新たな輝きを放ちました。最後には、橋の上空で今年初めてのドローンショーが行われ、花火と相まって幻想的な夜となりました。
(M1 袁昊)



Activities

旧山古志村踏査 (5/24)

5/24にM1メンバーで旧山古志村を巡検しました。新潟県中越地震で地すべり被害を受けた妙見、東竹沢や河道閉塞により水没した木籠集落などの地域の現状をこの目で確認しました。また、当時の被害状況や住民たちの証言を展示する山古志復興交流館おらたるを訪れ、震災の記憶を風化させないという強い意志を感じました。私にとっては研究室のメンバーとして初めての課外活動であったこともあり、印象に残る巡検となりました。(M1 坂井)



能登半島地震調査 (7/4~6)

今年の7月4日から6日にかけて、2024年に発生した能登半島地震の被害状況を調査しました。能登半島の各地を訪れたところ、発生から1年半が経った現在も多くの地域で被害が残っており、改めて災害の恐ろしさを実感しました。また、液状化の被害が大きかった内灘町では、SLAMや360度カメラによる計測も行いました。実際に現場を訪れて調査したことは非常に貴重な経験であり、今後の研究や活動に活かしていきたいと考えています。(M1 野田)



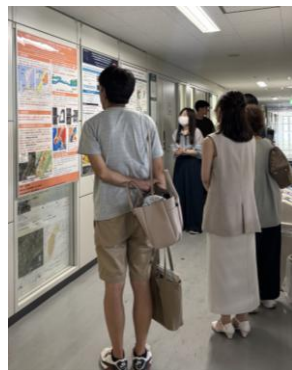
柏崎刈羽原発見学 (6/21)

私は原子力発電所がどのような安全対策を講じているか知りませんでした。しかし、柏崎刈羽原発を見学することで、深層防護や防潮堤、電源確保など多重の安全対策を直接見ることができました。実際に説明を受けたことで、安全への取り組みを理解し、以前より安全感が高まりました。
(M1 何多)



オープンキャンパス (7/27)

7月27日に開催されたオープンキャンパスでは、振動台実験と研究ポスターの説明を行いました。多くのお客様が来られ、メンバーもとても楽しそうに話していました。地震工学研究室はどんなところなのか一般の方にも知っていただけて私も嬉しく思います。
(M1 松田)



あとかぎ

課題研究が本格的に始まり、忙しくなってくる時期ですが、楽しく過ごせています。(B4 小幡)
人生初の長岡花火に感動しました。来年は先輩たちのように成長し後輩にも素敵な思い出を繋げたいです。(B4 小林)
とても過ごしやすい研究室で、毎日楽しく過ごさせて頂いています。今後の研究生活も充実させたいです。(B4 平林)
先輩方が話しかけてくださるのでとても居心地がよいです。これから多くのことを経験し学びたいです。(B4 松浦)
研究室の雰囲気を楽しみ、組織的で活発でした。実務訓練も全力で頑張ります。(B4 マルコ)